

開講年度	2025		開講学期	春学期		
科目コード	L00189		授業コード	10067		
科目名	地域貢献演習B			開講曜日・時限	火曜1限	
単位数	2.0		授業形態	演習		
担当教員名【代表】	神殿 織江					
担当教員名	東田 晋三					
ユニット名	ラ：【2024年度入学生】社会連携科目					
先修条件						
C-PLAT	C	○	P	○	L	○
	A		T	○		
授業のねらい	私達が属する地域社会に焦点をあて、安心と信頼を生み出す社会について考える。地域社会が抱える課題を探り、その解決のための地域コミュニティの取り組みの事例を調査し、課題解決にどのように繋がっているのかを学ぶ。さらに、地域活性化のための個人の関わりを考える。また、企業がどのような社会貢献を行なっているのか、社会情勢が変化する中で取り組みにおける変化も探る。					
授業時間外学習	社会の流れに興味を持ち、新聞、書籍、インターネットから情報を収集し、様々な年代の方々とコミュニケーションをとることに努め、地域の現状や問題を知り、個人の関わりを考える。提出された資料は、授業時間内ならびにel-campusからの解説によりフィードバックする。					
授業計画						
回	主 題	内容・授業方法・予習および時間・復習および時間・得られる成果など				
1	オリエンテーション	授業の進め方(C,P,L,T) 自分の貢献の事例を共有し、身近な例から貢献について考える（目標としたこと、それについてどのように取り組み、どのような結果につながったか） 予習：(2時間)これまでの自分が行った貢献について考える。復習：(2時間)日常で自分が関われることを考える。				
2	安心と信頼を生み出す社会について	安心と信頼を生み出す社会についてグループで討議する。(C,P,L,T) 個人の関わりについて考える。 予習：(2時間)どのような社会が安心と信頼を生み出すのか考える、復習：(2時間)授業内容を基に自分で関わるができる貢献を考える。				
3	地域社会が抱える現状と課題	社会情勢の変化の中で、地域が抱える課題を理解する。(C,P,L,T) 予習：(2時間)地域社会の課題を調べる、復習：(2時間)授業内容を基に自分で関わるができる貢献を考える				
4	人はなぜ働くのか 担当：東田	働くことが地域社会にどのように繋がるのか理解する(C,L,T) 予習:(2時間)自分の働き方について考えておく、復習:(2時間) 授業内容の整理と確認				
5	調査・事例発表①	自分の自治体が抱える課題とその取り組み、効果を調査し発表する。(C.P.L.T) 発表後に質疑応答とグループ討議を行う。(C.P.L.T) 予習:(2時間)テーマに関して深く調査する、復習:(2時間)討議で出た課題を確認する。				
6	調査・事例発表②	自分の自治体が抱える課題とその取り組み、効果を調査し発表する。(C.P.L.T) 発表後に質疑応答とグループ討議を行う。(C.P.L.T) 予習:(2時間)テーマに関して深く調査する、復習:(2時間)討議で出た課題を確認する。				
7	企業による社会貢献について歴史と現状	社会環境が変化する中で、企業の取り組みがどのように変化しているのか理解する。(C.P.L.T) 予習：(2時間)社会環境の変化について情報収集する、復習：(2時間)企業の社会貢献について調べる				
8	企業による社会貢献の事例	様々な企業の取り組み例を挙げ、グループで討議する。 (C.P.L.T) 予習：(2時間)企業の社会貢献について調べる、復習：(2時間)授業内容の整				

		理、確認
9	キャリアデザインとお金 担当：東田	自分のキャリアとお金の関わりを考え、地域活性との繋がりを理解する(C,P,T,L) 予習:(2時間)個人の関わりを考える、復習:(2時間)授業内容の整理と確認
10	企業の社会貢献の現状①	翌週のゲストスピーカーの企業、業界を調べ、事前学習を行い知識を得る。(C.L.T) 予習:(2時間)ゲストスピーカーの企業について調べる、復習:(2時間)レポート作成
11	企業の社会貢献の現状②	企業からゲストスピーカーを招き、社会貢献の現状について話を聞く。(C.L.T) 予習:(2時間)ゲストスピーカーの企業について調べる、復習:(2時間)レポート作成
12	企業の社会貢献における国際比較 ①	北米、欧州、アジアの企業の社会貢献を取り上げ、国際比較する。(C.P.L.T) 地域コミュニティの地域貢献へのヒントを探る。 予習:(2時間)海外の事例の下調べをする、復習:(2時間)海外の事例を調査する
13	企業の社会貢献における国際比較 ②	海外の事例について個人で調査したことを発表する。(C.P.L.T) 地域コミュニティの地域貢献へのヒントを探る。 予習:(2時間)海外の事例について調べる、復習:(2時間)国際比較した上で、地域への関わりを考える
14	地域貢献とSDGSの関係	地域の活性化がSDGS達成の貢献に繋がることが理解する(C.P.L.T) 予習(2時間)SDGSについて調べておく、復習(2時間)授業の内容を振り返る
15	まとめ	全体を振り返りまとめを行う(C.P.L.T) 予習(2時間)これまでの授業の振り返りをしておく、復習(2時間)授業内容の整理と確認
DP / ナンバリング		ラDP3/L1s102
授業の到達目標・学習 成果	身近な地域に関心を持つことができる。 個人の関わりが地域活性化に繋がることが理解できる。 地域社会の課題を学び、分析できる 活性化のための行動を考えることができる	
成績評価の対象となる項目・配分		
項 目		配 分
平常点		40 %
グループ研究・発表		40 %
期末試験(レポート)		20 %
		%
		%
		%
		計 100%
上記以外の対象となる 事項		
教科書	なし 適宜資料を配布する	
参考書	なし	
授業に関する質問等の 方法	初回授業で担当教員に確認をしてください。	
備 考	本講義は神戸親和大学との共同開発授業です	